

【 魅力あるホッカイドウ競馬について 】 村田光成 (R4.6.21)

(三) 魅力あるホッカイドウ競馬について

(1) ホッカイドウ競馬の運営について

魅力あるホッカイドウ競馬について伺います。

昨年もホッカイドウ競馬について伺いましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてから 2 年以上にわたり競馬関係者においても、感染症対策を行いながらの運営には大変ご苦労されたと考えます。

ホッカイドウ競馬は、競馬法改正により、昭和 23 年度から競馬開催がスタートし、開始から 44 年間で約 290 億円を一般会計に繰り出してきた一方、バブル景気の崩壊から平成 4 年度以降、赤字経営が続いた厳しい経営が続き、その後、平成 25 年度以降は連続で単年度黒字を確保し、先日開催された農政委員会で、令和 3 年度の決算見込みを報告し、単年度収支は前年度比 17.8%増の 36 億 5800 万円の黒字、2 年連続で過去最高を更新し、単年度黒字は 9 年連続と承知しています。

馬券発売額は 0.5%増の 522 億 9900 万円と微増し、インターネットを通じた販売は 95.1%を占める結果となり、新型コロナウイルス感染拡大の中、巣ごもり需要を取り込めたとの報道もありますが、厳しい経営を乗り越えながら、不断の改革に取り組まれてきた結果がここにあるとも言えます。

平成 19 年度に策定された『北海道競馬改革ビジョン』を契機に、その後に策定された『北海道競馬推進プラン』により、ホッカイドウ競馬の位置づけを認識し、ここ 2 年以上にわたるコロナ禍において、どのような対策を進めてきたのか、また、今後、アフターコロナを見据えどのように取組んでいくのか決意を含めて伺います。

(答弁：鈴木知事)

- ・馬産地に立脚するホッカイドウ競馬は、全国へ競走馬を供給するほか、地域の雇用や経済の活性化に寄与、今後とも持続的に発展していくことが重要。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、無観客での開催を余儀なくされたが、インターネットでの発売対策として、ネット事業者と連携した映像のデジタル化など発売拡大に取り組んできたところ。
- ・アフターコロナを見据え、ネット発売におけるプレゼントキャンペーンなど、ファンサービスの一層の充実、門別競馬場や場外発売所への誘客対策を進めるとともに、騎手などの人材確保、老朽化したきゅう舎の整備など重点的に取組み、安定的に運営できる環境を整えてまいる。

(2) 門別競馬場等への誘客について

門別競馬場等への誘客についてですが、

昨年度の売り上げから、95.1%がインターネット発売だったことから、コロナ禍に伴う巣ごもり需要を取り込んだと言えますが、競馬ファンのさらなる獲得や発売額に結びつけるためには、ファンの皆様に迫力あるレースを間近で体感していただくために、門別競馬場に来場いただくこと、また、大型モニターで映像を見ながら馬券を購入できる場外発売所(Aiba)に来ていただくことも重要と考えます。

コロナ禍においては、イベント開催は困難でありましたが、アフターコロナを見据え、誘客対策について伺います。

(答弁：農政部長)

- ・ホッカイドウ競馬の根強いファンをつくり、発売額の拡大を図るため、インターネット発売だけではなく、迫力あるレースを間近で体感できる門別競馬場や、映像を見ながら馬券を購入できる場外発売所(Aiba)に来場いただくことが重要。
- ・競馬場では、観戦スタンドを増設し芝生や季節の花の装飾といった環境整備、地元飲食店の出店などを進める。

- ・場外発売所では、来場者がゆったりとくつろげる環境づくりを進め、誘客に努めているところ。
- ・新型コロナウイルス感染症が収束した場合には、競馬場での道産食品提供などのイベントを行う、場外発売場では来場者プレゼント、また、近隣飲食店との連携によるイベントを実施し、さらなる誘客促進に取り組んでまいります。

(3) 今後の取組について

ホッカイドウ競馬は、様々な経済活動と結びつき、雇用や地域経済に大きな波及効果をもたらしていることも承知しています。

ホッカイドウ競馬が使命を果たしながら、今後も持続的に発展していくためには、競馬ファンに愛されるホッカイドウ競馬の実現に向けて取り組んでいく必要があります。

第3期ホッカイドウ競馬推進プランで示されている重要課題として、騎手などの人材育成や老朽化した競馬場の基幹施設の再編整備に取り組むとあります。優先課題として、人材の確保、育成の観点からも、居住環境の改善と安全確保の観点からも、きゅう舎と関係者の住む住居地を早く整備することが急がれると考えます。今後の施設整備のあり方や進捗状況について伺います。

(答弁：農政部長)

- ・競馬事業を安定的に運営していくためには、門別競馬場の基幹施設の再編整備が喫緊の課題。
- ・『第3期北海道競馬推進プラン』に基づき、老朽化したきゅう舎などの建て替えなど、効率的に競馬業務が行えるよう施設の配置の見直しを行い、より多くのファンが楽しめるよう来場者エリアの拡大を検討。
- ・きゅう舎については、早期の整備に向けて設計や必要な手続きを進め、調教師や騎手などのきゅう舎関係者にとって住みやすく、安全で働きやすい職場環境など快適に楽しむことのできる競馬場づくりを着実に進める。